

薬学部履修要項 別表（２）

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								講座・部門	名前
第2学年	基礎	講義	薬学英语の基礎 1	前期	1	必修		富士吉田教育部	高橋 留美
	基礎	講義	薬学英语の基礎 2	後期	1	必修		富士吉田教育部	高橋 留美
	専門	講義	物質の状態と変化	前期前半	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	有機化合物の反応	前期前半	1	必修	○	薬化学	金光 卓也
	専門	講義	化学平衡	前期前半	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (神経・感覚器・皮膚・消化器・血液・呼吸器)	前期前半	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	人体の成り立ちと機能 (循環器・泌尿生殖器・内分泌・遺伝)	前期後半	1	必修	○	生理・病態学	谷岡 利裕
	専門	講義	薬の宝庫としての天然物	前期後半	1	必修	○	天然医薬治療学	高松 智
	専門	講義	生命活動を担う分子(代謝とエネルギー)	前期後半	1	必修	○	生物化学	小浜 孝士
	専門	講義	生命活動を担う分子(DNAからタンパク質へ)	前期前半	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	薬の作用と生体内運命	前期後半	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	個人・集団・社会と健康	前期後半	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	微生物と感染症	前期後半	1	必修	○	感染制御薬学	石野 敬子
	専門	講義	物質の構造	後期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	医薬品の検出と定量	後期	1	必修	○	生体分析化学	加藤 大
	専門	講義	官能基の化学	後期	1	必修	○	薬化学	永田 和弘
	専門	講義	生命活動を担う分子 (細胞の構造、機能と情報伝達)	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	生体防御反応を担う組織、細胞、分子	後期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	生活環境と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範Ⅰ	後期	1	必修	○	社会薬学	赤川 圭子
	専門	講義	薬と疾病(悪性腫瘍)	後期	1	必修	○	感染制御薬学	加藤 裕久
	専門	講義	薬と疾病(感染症)	後期	1	必修	○	感染制御薬学	石野 敬子
	専門	講義	薬の効き方	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	演習	コミュニケーション	前期	1	必修		社会薬学	倉田 なおみ
	専門	演習	在宅医療を支えるNBMと倫理(学部連携)	前期前半	0.5	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	演習	生と死	後期	1	必修		医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修		天然医薬治療学	高松 智
	専門	演習	生理から病態へ 演習	後期	1	必修		生理・病態学	巖本 三壽
	専門	実習	物質の性質と分析 実習	前期前半	1.5	必修		生物物理化学	合田 浩明
	専門	実習	物質の性質と分析 実習	前期前半	1.5	必修		生体分析化学	加藤 大
	専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修		薬品製造化学	福原 潔
	専門	実習	医薬品の化学 実習	前期後半	1.5	必修		薬化学	伊藤 喬
	専門	実習	人体の成り立ちと機能 実習	前期後半	0.5	必修		生理・病態学	巖本 三壽
	専門	実習	診療の流れを知る 実習	前期後半	1	必修		医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	実習	薬用植物の化学 実習	後期	1	必修		天然医薬治療学	川添 和義
	専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		生物化学	板部 洋之
	専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		感染制御薬学	石野 敬子
	専門	実習	生命体の成り立ち 実習	後期	2	必修		腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
合計				最低履修科目数		33科目	必要要件単位数		34単位

※ 対象科目：再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

薬学部履修要項 別表（２）

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								講座・部門	名前
第3学年	専門	講義	薬学英語1	前期	1	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	講義	薬剤師と医薬品に係る法規範 2	前期	1	必修	○	医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	講義	溶液の性質	前期	1	必修	○	生物物理化学	合田 浩明
	専門	講義	生体分子の化学	前期	1	必修	○	薬品製造化学	福原 潔
	専門	講義	薬物の体内動態	前期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	生体防御反応の応用と制御	前期	1	必修	○	腫瘍細胞生物学	柴沼 質子
	専門	講義	薬と疾病(神経・精神系疾患)	前期	1.5	必修	○	薬学教育学	田中 佐知子
	専門	講義	薬と疾病(呼吸器系疾患)	前期	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	薬と疾病(消化器系疾患)	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	臨床で用いる分析技術	前期	1	必修	○	生体分析化学	唐沢 浩二
	専門	講義	処方せんと調剤	前期	1	必修	○	医薬情報解析学	加藤 裕久
	専門	講義	製剤の性質	前期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	医薬品情報と患者情報	前期	1	必修	○	医薬情報解析学	加藤 裕久
	専門	講義	薬学英語2	後期	1	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	講義	製剤設計	後期	1	必修	○	薬剤学	原田 努
	専門	講義	機器分析	後期	1	必修	○	生体分析化学	田中 信忠
	専門	講義	医薬品の化学	後期	1	必修	○	薬品製造化学	福原 潔
	専門	講義	生命活動を担う分子(ゲノム情報とバイオ医薬品)	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	医薬品・化学物質の代謝反応	後期	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	薬物動態の解析	後期	1	必修	○	薬物動態学	佐藤 均
	専門	講義	栄養と健康	後期	1	必修	○	衛生薬学	中谷 良人
	専門	講義	薬と疾病（循環器系疾患）	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病（代謝系・内分泌系疾患）	後期	1	必修	○	薬理学	野部 浩司
	専門	講義	薬と疾病（泌尿器系・生殖器系疾患）	後期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	薬と疾病（免疫・アレルギー疾患）	後期	1	必修	○	生理・病態学	巖本 三壽
	専門	講義	社会保障制度と医療経済	後期	1	必修	○	社会薬学	岸本 桂子
	専門	演習	薬剤師の使命	前期	1	必修		薬学教育学	佐口 健一
	専門	演習	薬と疾病フューチャル1（神経系）	前期	1.5	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	演習	薬剤師に求められる倫理観	後期	1	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	演習	薬と疾病フューチャル2（循環器系）	後期	0.5	必修		生理・病態学	谷岡 利裕
	専門	演習	チーム医療による薬物治療と在宅ケア（学部連携）	後期	1	必須		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	実習	健康と環境 実習	前期	1	必修		衛生薬学	原 俊太郎
	専門	実習	製剤化と製剤試験法 実習	前期	1	必修		薬剤学	原田 努
	専門	実習	調剤・患者対応入門 実習	前期	1	必修		薬物治療学	向後 麻里
	専門	実習	急性期医療と薬剤師 実習	後期	1	必修		医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	実習	研究倫理と統計 実習	後期	1	必修		毒物学	沼澤 聡
	専門	実習	薬の効くプロセス 実習	後期	1	必修		薬理学	野部 浩司
					最低履修科目数 37科目 必要要件単位数 37.5単位				

※ 対象科目：再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

前期必修科目数 18科目

後期必修科目数 19科目

前期必要要件単位数 19単位

後期必要要件単位数 18.5単位

最低履修科目数 37科目 必要要件単位数 37.5単位

薬学部履修要項 別表（2）

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	対象科目	科目責任者	
								講座・部門	名前
第4学年	専門	講義	薬となる化合物の構造と性質	前期	1	必修	○	薬化学	伊藤 喬
	専門	講義	分子・細胞から生理・病態へ	前期	1	必修	○	生物化学	板部 洋之
	専門	講義	漢方医学の実践	前期	1	必修	○	天然医薬治療学	川添 和義
	専門	講義	日常生活と健康	前期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	講義	薬物送達システム	前期	1	必修	○	薬剤学	中村 明弘
	専門	講義	薬と疾病(眼・耳鼻咽喉・骨関節疾患)	前期	1	必修	○	医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	講義	薬と疾病(血液・小児・皮膚疾患)	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	個別化医療	前期	1	必修	○	薬物治療学	向後 麻里
	専門	講義	地域医療とプライマリーケア	前期	1	必修	○	社会薬学	倉田 なおみ
	専門	講義	薬毒物と中毒	前期	1	必修	○	毒物学	沼澤 聡
	専門	講義	放射性医薬品の利用と管理	後期	1	必修	○	衛生薬学	原 俊太郎
	専門	演習	チーム医療実践の基盤チュートリアル(学部連携)	前期	1.5	必修		薬学教育学	田中 佐知子
	専門	演習	基礎薬学演習(実務実習に備える)	後期	1	必修	○	薬学教育学	佐口 健一
	専門	演習	薬と疾病チュートリアル3(がん疾患)	前期	0.5	必修		薬物動態学	杉山 恵理花
	専門	演習	輸液と栄養	前期	0.5	必修		薬物動態学	杉山 恵理花
	専門	演習	EBM演習	前期	1	必修		医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	実習	実務実習事前学習	後期	4	必修		医薬品評価薬学	亀井 大輔
	専門	実習	病院実習1※1	後期	-	必修		病院薬剤学	佐々木 忠徳
	専門	実習	薬学研究入門	通期	6.5	必修		講座・部門責任者	
合計					最低履修科目数		18科目※1	必要要件単位数	26単位※1

※ 対象科目：再試験受験資格判定科目、進級試験対象科目

※1：病院実習1については単位算定は第5学年時に行う

薬学部履修要項 別表（2）

薬学部履修要項 別表（2）								
学年	科目 分類	授業 形態	科目名	開講期	単位数	必修 選択	科目責任者	
							講座・部門	名前
第5学年	専門	実習	病院実習1	前期	4	必修	病院薬剤学	佐々木 忠徳
	専門	演習	実務実習に向けて（キャリア教育）	前期	1	必修	社会薬学	倉田 なおみ
	専門	演習	実践セルフメディケーション	前期	1	必修	社会薬学	赤川 圭子
	専門	演習	アドバンスト薬学英語	後期	1	必修	講座・部門責任者	
	専門	実習	病院実習 2	通期	10	必修	病院薬剤学	佐々木 忠徳
	専門	実習	薬局実習	通期	10	必修	医薬情報解析学	加藤 裕久
	専門	実習	海外における薬剤師の役割を知る	後期	②	自由選択	生物化学	板部 洋之
	専門	実習	インターンシップ	通期	①	自由選択	社会薬学	倉田 なおみ
	専門	演習	応用薬学演習※ 1	後期	-	必修	薬化学	伊藤 喬
	専門	実習	薬学研究※ 1	後期	-	必修	講座・部門責任者	
合 計					最低履修科目数 6科目 必要要件単位数 27単位（～30単位）			

※ 1 応用薬学演習、薬学研究については、5年次から履修し第6学年において単位を算定する

薬学部履修要項 別表（2）

学年	科目分類	授業形態	科目名	開講期	単位数	必修選択	科目責任者	
							講座・部門	名前
第6学年	専門	実習	薬学研究Ⅰ	前期	16	選択必修※1	講座・部門責任者	
	専門	実習	薬学研究Ⅱ	前期	14		講座・部門責任者	
	専門	実習	薬学研究Ⅲ	前期	12		講座・部門責任者	
	専門	演習	応用薬学演習※2	前期	9	必修	生物物理化学	合田 浩明
							天然医薬治療学	高松 智
	専門	実習	学部連携病棟実習	前期	1	必修	薬学教育学	田中 佐知子
	専門	実習	薬剤師の臨床判断	前期	②	自由選択	医薬品評価薬学	岩井 信市
	専門	実習	学部連携地域医療実習Ⅰ	前期	②	自由選択	社会薬学	倉田 なおみ
	専門	実習	学部連携地域医療実習Ⅱ	前期	④	自由選択	社会薬学	倉田 なおみ
合 計					最低履修科目数 3科目 必要要件単位数26.0単位※3			

※1 自由選択科目(薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ)を選択しない学生については、「薬学研究Ⅰ」を履修する。
 薬剤師の臨床判断、学部連携地域医療実習Ⅰを選択した学生、あるいは第5学年において「海外における薬剤師の役割を知る」を履修した学生は「薬学研究Ⅱ」を、学部連携地域医療実習Ⅱを選択した学生は「薬学研究Ⅲ」を履修する。

※2 応用薬学演習については、5年次から履修した時間数を第6学年において単位を算定する。

※3 第5学年において「海外における薬剤師の役割を知る」を履修した学生は、24.0単位とする。